

理学研究科 応用数学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数:28単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
専 門 分 野			
必修科目(8単位)			
応用数学特別研究1	2		
応用数学特別研究2	2		
応用数学特別研究3		2	
応用数学特別研究4		2	
選択必修科目(8単位) ※1			
統計科学			
統計科学講究1	2		数選必
統計科学講究2	2		数選必
統計科学講究3		2	数選必
統計科学講究4		2	数選必
計算数学			
計算数学講究1	2		数選必
計算数学講究2	2		数選必
計算数学講究3		2	数選必
計算数学講究4		2	数選必
情報数理			
情報数理講究1	2		数選必
情報数理講究2	2		数選必
情報数理講究3		2	数選必
情報数理講究4		2	数選必
選択科目(12単位)			
統計科学			
統計学特論A	2		数選
統計学特論B	2		数選
応用統計学特論A	2		数選
応用統計学特論B	2		数選
応用確率論特論	2		数選
年金数理特論	2		数選
計算数学			
数値解析学特論	2		数選
最適化理論特論	2		数選
組合せ最適化特論	2		数選
応用解析学特論A	2		数選
応用解析学特論B	2		数選
非線形解析学特論	2		数選
情報数理			
情報理論特論	2		数選
離散数学特論	2		数選
数式処理特論A	2		数選
数式処理特論B	2		数選
知的情報処理特論	2		数選
関数解析学特論	2		数選
共通			
数理データサイエンス特論	2		数選
数理モデリング特論	2		数選
特別講義A	2		
特別講義B	2		
特別講義C	2		
特別講義D	2		

【一般教養科目・修了所要単位:2単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
選択必修科目(2単位)			
教養(共通)			
自然を学ぶ科目群			
物理学から見る理学の世界1	1		
物理学から見る理学の世界2	1		
物理学から見る理学の最前線1	1		
物理学から見る理学の最前線2	1		
物理学から見る理学の未来1	1		
物理学から見る理学の未来2	1		
人間と社会を学ぶ科目群			
社会科学系			
Japan's diplomacy in the context of globalization	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知財情報科学	1		
知的財産特論	2		
表現・コミュニケーション系			
Presentation Skills	2		
キャリアデザイン系			
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
教授メディア学習論			数選
学校インターンシップ(アドバンス)	1		数選
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Academic English 1	2		
Academic English 2	2		
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学者・技術者の倫理	1		
科学文化概論	2		
情報学・環境学系			
環境安全科学	1		
ゼミ・特別講義系			
ウォーターサイエンス特論	2		

【履修方法】

1. 以下①～④を全て満たし、合計30単位以上修得すること。
 ①専門必修科目8単位を修得すること。
 ②※1の専門選択必修科目から、自己の指導教員が担当する授業科目1～4を4科目8単位修得すること。
 ③専門科目群の専門選択科目を12単位以上修得すること。
 ④一般教養科目2単位を修得すること。
 ただし、2単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めない。
2. 研究科の定めるところにより、以下に掲げる授業科目を履修することができる。
 ①所属専攻以外の専攻課程による授業科目
 ②他の研究科の授業科目
 ③他大学の大学院の授業科目
 ④学部の授業科目
- ①～③の授業科目において修得した科目の単位のうち、修了所要単位として含めることができる単位数は6単位までとする。ただし、このうち教養(共通)科目については、修了所要単位として含めることができる単位数は2単位までとする。
3. 「教授メディア学習論」、「学校インターンシップ(アドバンス)」については教職課程登録者に限り履修することができる。

【教免区分】

教育職員免許状取得のための単位認定区分を示す。
 <大学が独自に設定する科目(数学)>
 数選必 ⇒ 数学の選択必修科目
 数選 ⇒ 数学の選択科目
 注 教育職員免許状取得希望者は、大学院要覧『教職課程について』(P.69)を必ず参照すること。